

2023 年 4 月 20 日
株式会社日立製作所

Web3、生成 AI などデジタル領域におけるイノベーション創出に向け 第 3 号コーポレートベンチャーキャピタルファンドを設立

従来の 2 倍の投資規模で、最先端のデジタル技術を活用した事業機会の獲得をめざす

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、デジタル領域でのイノベーションの加速や新たな事業機会の創出を目的に、コーポレートベンチャーキャピタル(以下、CVC)ファンド^{*1}「HV Fund」の第 3 号ファンドを設立します。本ファンドは、これまでに設立した第 1 号、第 2 号ファンドの 2 倍に相当する 300 百万米ドルで組成し、Web3、生成 AI をはじめとする最新のデジタルトレンドを牽引するスタートアップ企業への戦略的な投資を行います。

日立は、2019 年 6 月に日立ベンチャー社を設立して「HV Fund」の第 1 号ファンドを組成し、2021 年 10 月には第 2 号ファンドを設立しました。これら 2 つのファンドを通じて、これまでに合計 21 社のスタートアップ企業に出資し、日立の事業とのコラボレーションを通じて各社の成長を支援しつつ、お客さまに価値を提供することで、デジタルトランスフォーメーション(DX)、脱炭素、ウェルビーイングなどに貢献しています。具体的には、IoT や AI から生まれる膨大なデータの処理を可能にする高速分散データ処理ソリューションや、サプライチェーン上流のスコープ 3 における温室効果ガス排出データを自動収集するソリューション、カーボンクレジットの質を評価するためのソリューションなど、近年多くの企業で課題となっている分野へ投資してきました。

このたび設立する第 3 号ファンドは、Web3 など新たな潮流で生まれる先進的ビジネスモデルやデジタル経済圏に挑戦するスタートアップ企業および AI、ブロックチェーン、クラウドコンピューティング、5G/6G、仮想現実などの技術の進化とそれを応用した新しいサービスを牽引するスタートアップ企業への投資を拡大します。これにより、デジタルによるイノベーション創生とテクノロジーの社会実装を促進し、お客さまの業務や生活における体験価値の向上と、持続的な成長に貢献します。

日立は、これら 3 つのファンドを通じた戦略的なコーポレートベンチャリングによりオープンイノベーションと成長を強化することで、顧客体験を革新するサービスや成長を創るデジタルのビジネスモデルを探索し、デジタルシステム&サービス、グリーンエネルギー & モビリティ、コネクティブインダストリーズの各事業領域における強みを生かした新たな価値をお客さまと社会に提供していきます。

■日立製作所 執行役社長兼 CEO 小島啓二のコメント

近年、テクノロジーに関するトレンドはこれまでにないスピードで移り変わっています。こうした中、世界中で起きているデジタル領域のイノベーションをいち早く発掘し、社会イノベーション事業とイノベーション成長戦略に取り込む手段として、日立は 2019 年よりコーポレートベンチャリングに取り組んできました。このたび新設する第 3 号

ファンドでは、Web3 や生成 AI といった時代の最先端のテクノロジーを有するスタートアップ企業との協創を実現します。これにより創業以来のアイデンティティである、新たなお客さまと事業機会を懸命に開拓するベンチャー精神(開拓者精神)と、日立が築いてきたデジタルシステム&サービス、グリーンエナジー & モビリティ、コネクティブインダストリーの各事業領域における強みをさらに強化し、社会イノベーション事業のグローバルな成長を加速させ、社会に新たな価値を提供していきます。

■日立ベンチャー社 CEO & Managing Director Stefan Gabriel のコメント

日立ベンチャー社は、2019 年の設立以来、世界各地の優れたベンチャーキャピタルや CVC ファンドとのパートナーシップを通じてグローバルなスタートアップ企業へ出資してきました。日立グループの事業とのコラボレーションを通じたスタートアップ企業の価値向上の取り組みは高く評価され、GCV 社の「Powerlist 2022」^{*2}でトップランクを獲得しました。今回の第 3 号ファンドでは、デジタル領域のビジネスや革新的なテクノロジーへの投資と協業により、日立のイノベーション戦略とグローバルな事業展開を後押しします。

*1 CVC ファンド: 事業会社が社外のスタートアップ企業等に対して戦略出資するファンド。

*2 CVC 業界のデータプロバイダーである Global Corporate Venturing 社が、毎年世界各国の CVC から選定するもの。

<https://globalventuring.com/corporate/gcv-powerlist-2022-19-stefan-gabriel/>

■第 3 号ファンドの概要

名称	HV Fund 第 3 号ファンド
設立日	2023 年 4 月 20 日 (予定)
運営会社	日立ベンチャー社
出資者	日立製作所
ファンド規模	300 百万米ドル
投資対象	最先端のデジタル技術を活用した新規事業、ビジネスモデルに挑戦しているスタートアップ企業

■日立ベンチャー社(Hitachi Ventures GmbH)について

設立日	2019 年 6 月 1 日
所在地	ドイツ: ミュンヘン (本社) 米国: サンタクララ、ボストン
代表	CEO & Managing Director : ステファン・ガブリエル(Stefan Gabriel)

日立ベンチャー社は、日立の戦略的コーポレートベンチャーキャピタル部門であり、日立と戦略的に関連性の深い、モビリティ、ヘルスケア、スマートライフ、産業、エネルギー、IT などの社会課題に取り組む革新的なスタート

アップ企業に投資しています。ドイツと米国にオフィスを構えてヨーロッパ、イスラエル、北米をカバーしており、出資および日立の事業部門との戦略的協業を通じて、エキサイティングな技術やビジネスモデルを有する有力なスタートアップを支援していきます。

詳しくは、日立ベンチャー社のウェブサイト(<https://www.hitachi-ventures.com/>)をご覧ください。

■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。金融・官公庁・自治体・通信向け IT サービスやお客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエネルギー&モビリティ」、産業流通、水インフラ、ヘルスケア、家電・空調システム、計測分析システム、ビルシステムなどの幅広い領域でプロダクトをデジタルでつなぐ「コネクティブインダストリーズ」と、自動車・二輪車の分野で先進技術を提供する「オートモティブシステム」の事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお客さまや社会の課題を解決します。グリーン、デジタル、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。2021 年度(2022 年 3 月期)の連結売上収益は 10 兆 2,646 億円、2022 年 3 月末時点で連結子会社は 853 社、全世界で約 37 万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■お問い合わせ先

株式会社日立製作所 コーポレートベンチャリング室 [担当：熊谷、若林]

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号 日本生命丸の内ビル

問い合わせフォーム：<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hqrd/corporateventuring/jp/form.jsp>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
